



春夏秋冬

長生きしよう

今年の夏は猛暑で台風8個の来襲や集中豪雨が多く、その影響で各地は甚大な被害を受けました。更には関西の双子地震、浅間山の噴火等、天変地異を感じるこの頃ですが、被害に遭われた方々にはお見舞い申し上げます。

一方、今年のオリンピックアテネ五輪では、日本人選手の活躍はすばらしくメダルラッシュに大変盛り上がりました。

その中でも、通算五回目の五輪に挑戦し、銀メダルを獲得したアーチェリーの山本選手の「二十年かけて銀メダルが取れたので、これから二十年かけて金メダルを目指したい!!」というコメントには、感銘を覚えました。

さすがにオリンピックに出る選手はそれなりの高い目標を持ち、それに向かって努力している姿があるのですが、その反面、今の日本はなぜ過去に無いような事件、悪いことばかり起こるのでしょうか?

若年者の殺人、当たり前の離婚、自殺者、いじめ、不登校、いやな言葉ばかりです。これは戦後の日本の教育、家庭、塾の問題でしょうか?

その他、食べ物、環境問題等、何がこのような仕組みになってきたのか、特に高齢者に付き物の「介護」についても実践されている方たちの意見を戴きまとめていきたいと思っています。

食べ物でも最近特に「なぜ」と思うのですが、昔は頻繁に豆腐の水は替えないと悪くなると言われた物が今では何日も冷蔵庫に保管することができます。

シャープ社友会
広島支部会報
ひびき 第32号

1面 春夏秋冬
2〜5面 HOW DO YOU DO
支部のインターネット環境
6面 秋季旅行ガイド
7面 役員会だより
8面 社友短信 新入会員

主要記事

春夏秋冬
HOW DO YOU DO
支部のインターネット環境
秋季旅行ガイド
役員会だより
社友短信 新入会員

副支部長 吉久 清春

当然これには防腐剤が大量に使われていることだろうと思いますが、本当に人体に悪い影響は無いのでしょうか不思議でなりません。これらの事が介護要の人間を作っていますか?皆さんの経験をお聞かせください。

私事で申し訳ないのですが、九十三歳の母が大阪で一人で暮らしています。今まで姉まかせで連休の正月、夏休み等に母のもとに行くという生活でした。

最近の母の行動を見ていると目が離せない時がある為、姉と相談し兄弟四人が月に一度、一週間単位で母のも



とに帰り面倒を見ることにしたのです。

一緒に生活する中で母が今まで元気に一人で過ごして来れたのは、何があったのかを調べると次の四つの項目がありました。

- 一 同居の兄の末息子を自分の子供(孫であるが)のように面倒を見て育ててきた。
- 二 六十歳ぐらいで覚えた三味線と民謡を人に教えた。
- 三 友人に会ったり、集会所に出かけるのが好きである。
- 四 毎日メモ帳を記入すること。(金銭も含めて)

九十歳を超えだすと自分のした事が判らない時がある。ある時、母のほほにすり傷があるのでその傷はどうしたのかと聞いたところ、何か判らない状況が起こる。

また、敬老の日に、お祝い(商品券)を戴いたものを財布に入れ、商店街に買い物に行った時、それを使えることは判っていますが、さてこれをいつ(昨日)、誰に貰ったのか覚えていません。当然一週間前の事など全然記憶にありません。しかし、昔の事はよく判っていて、今と映像が入れ替わるときが有ります。

それでも昔商売をしていた関係で金銭関係は今も達者です。メモ帳に書き込んだお金の残高と現金合わせをして確認します。ノートを使って足し算、引き算をすることが少しはボケ防止になっているようです。三味線も民謡も自分の好きな物はなかなか忘れません。年をとると趣味も大切な活性要素だと思います。

人との交わりが好きなのでよく出かけます。この時は一人で地域の同好会主催の民謡、カラオケ、習字等参加できるものにはカレンダーに書き込んで行かせるようにしています。人と交流することで元気を貰っているようです。

母の行動を見て早くボケないためにも出来るだけ頭を使い、体を動かし、体力を維持することが長生きの秘訣のように思われます。母は大阪で一人暮らしをしておりましたが馴れない土地に連れて行くよりも、我々兄弟が動いて今までの環境を守ってやることも大切なことです。

社友会の中にも今度カメラの同好会が出来ます。まだ同好会に参画されていない人は入会していただき仲間を増やし語り合う時間を作ろうでは有りませんか。

ゴルフ

腰痛癒えて広瀬さん 堂々の優勝(第74回)

熱暑の中での熱戦続く

第72回コンペは、32名の参加で行われました。梅雨明け宣言が、昨年より一週間早く、また雨も少なく真夏の日和続きでゴルフコンディションが懸念されましたが、結果として懸念無用でした。

また、トリッキーな難コースとしてでも知られていますがメンバー会員も多く、特段の支障は生じませんでした。コースよりの特典として全員にゴルフシューズ進呈とコンペ商品の提供もありました。

上位3位までは入会2、3年の若い会員で、しかも「ハンディキャップ26」と条件有利が重なり、9アンダーのダントツを先頭に10位まではすべてアンダーブレイとなりました。12ストロークのなかに20名が1ストロークを競い合う緊迫したコンペでした。

第73回コンペは、台風10号、11号と列島を通過した後の、残暑の厳しさが続く中で行われました。

今回も、先月に続き山岳コースに挑戦となりました。この暑さの為かグリーンが速く、カップインに苦しんだホールも多く、2アンダーを筆頭に、ここでも19ストロークの中に1ストロークを凌ぐ激戦で暑さを吹っ飛ばした頑張りでした。

反面、前回入賞者が下位に位置するハブニングの起こるのもゴルフの面白さでしょう。

台風16・18号が山陰地方を通過し、大

きなつめ跡を残しました。大木を倒す等の影響があり、ゴルフ場では倒木や折れ枝の被害もありました。第74回コンペは、台風通過後の朝夕爽やかな初秋日和で行われ、暑さの中にもゴルフコンディションは良好でした。来年3月最終戦での、「2004年グランドチャンピオン賞」獲得へのシード権枠も残り8名を意識したのか、接戦の成績と

なりました。結果は、8アンダーを筆頭にアンダーパーが9名でした。中でも、優勝者は腰痛を理由に2年間近くブレイに参加せず、ハンディを温存していたのか、「優勝、おめでとう」と言うしかないコンペでした。第72回コンペよりの、新会員3名も次回より、それぞれ同好会公式ハンディを取得します。さらに、今期入賞によるハンディ改訂も加わり、以降はネットスコアに明確の分かれるコンペとなるでしょう。総じてネットでのレベル差がなく、毎回の接戦で、ますます油断のできないコンペとなっています。

入賞者の写真は左ページ下段に掲載。

平成16年度第4戦～第6戦の成績

(NET スコア)

第72回コンペ (7/21朝日G/C)			第73回コンペ (8/9竹原C/C)			第74回コンペ (9/13安芸C/C)		
順位	参加者	par	順位	参加者	par	順位	参加者	par
1	奥村	-9	1	小谷	-2	1	広瀬	-8
2	原田	-5	2	高見	0	2	丸山	-7
3	勝山	-4	3	山本(博)	0	3	猪飼	-6
4	山内	-3	4	山内	+1	4	森本	-4
5	車角	-3	5	徳永(文)	+1	5	山内	-3
6	高見	-2	6	西尾	+1	6	小谷	-2
7	植木	-2	7	伊藤	+3	7	長谷川	-2
8	山本(善)	-1	8	山口(春)	+3	8	出口	-2
9	明石	-1	9	山本(善)	+3	9	植木	-1
10	新宅	-1	10	新宅	+3	10	鈴木	0
11	嵐	0	11	櫻見	+4	11	櫻見	+1
12	今村	0	12	猪飼	+6	12	松本(全)	+1
13	川野	+1	13	松本(邦)	+6	13	堀	+2
14	丸山	+2	14	清田	+6	14	津郷	+3
15	長谷川	+3	15	嵐	+7	15	清田	+3
16	出口	+3	16	出口	+7	16	山本(善)	+5
17	松本(邦)	+3	17	松本(全)	+7	17	車角	+7
18	堀	+3	18	喜田	+7	18	山本(博)	+7
19	猪飼	+4	19	車角	+8	19	新宅	+7
20	山本(博)	+4	20	原田	+8	20	原田	+8
21	山口(剛)	+5	21	森本	+8	21	伊藤	+9
22	御船	+5	22	佐々木	+8	22	山口(春)	+10
23	西尾	+5	23	杉山	+10	23	高見	+10
24	津郷	+5	24	津郷	+10	24	奥村	+10
25	松浦	+6	25	鈴木	+13	25	相馬	+10
26	相馬	+7	26	相馬	+13	26	勝山	+10
27	杉山	+11	27	奥村	+16	27	西尾	+10
28	小林	+10	28	勝山	+17	28	松本(邦)	+11
29	明石	+10				29	稲場	+12
30	相馬	+11				30	徳永(文)	+12
31	河上	+11				31	嵐	+14
32	津郷	+12				32	吉久	+14
						33	佐々木	+16

第一回 ダンスパーティ
ダンススポーツ同好会

とき 12月19日(日) 正午～3時
ところ テクノプラザ(1F)
会費 2500円(予定)

- スタートはランチパーティから
- ゲームやダンスの指導もあります。
- 楽しく“ワイワイ”過ごせるひとときです。
- 自由に参加できます。お申し込みは同好会会員に。ご参加の方々にはパーティ券が発行されます。

釣り

元気で「釣り」できる
喜びを確かめる

7月8日

5月・6月の二ヶ月間釣行が無かったので久しぶりの釣行になりました。

5、6月は、冬の魚(メバル・等)と夏の魚(アジ、サバ、等)の境月になる為に釣果も少なく、また魚種も定まらず難しい月なので。

7月になるとアジ、サバの青魚が釣れ始めます。季節、水温で早く青魚が釣れる年もあるそうです。

今年6月中頃から、釣れはじめたそうです。

6時にポイントに着き、アンカーを降ろして釣り開始です。アジ、サバはコマセ(アミエビ)を網籠に入れて撒餌をします。魚を舟の近くに集めるのです。

始めの30分は撒餌が大切です。いくら撒餌をしても釣れなければ、魚が近くにはいないということとです。

撒餌をして20分、釣れた！と大きな声がありました、アジです。丸アジの40センチ、久しぶりの手応えです。これがあるから釣りは辞められません。

あっち、こっちで釣れた！の



声です。平アジと丸アジ、サバが釣れました。
平アジはサイズが小さいです。塩焼きにはいいサイズですが刺身にはいまひとつです。
お土産に大タコが一匹付いて、まあまあ釣果でした。幹事もやれやれのスタートでした。
9月19日

今年台風の多いのは、困ったものです。今日また21号が近づいているそうです。道路、家屋の被害も多くあります。鹿島へ行く道でも、阿賀と尾立で工事中でしたし、倉橋の本浦では、堤防が壊れていました。
実は釣りの御土産にも影響があるのです。船頭さんがお土産にと網を引いてくれるのですが、今ですとコウイカ、カレイが取れるのです。
ところが今年先日の18号台風で海底に流木が流れて来ているので、網が破けたり、何もかからないそうです。舟のイケスを見ると何もありません。

8月も休まず頑張りました
5月にスタートして早や五ヶ月をすぎ、スタート時に入会された会員の皆さんは、すでにワルツのステップを完全にマスターされ、広い体育館で軽快にステップされています。
その後に入会された方も先輩たちに教えてもらって、3回5回の出席で基本ステップをマスターされ、皆で賑やかに楽しく踊

(川田 記)

パソコン

疑問点・問題点呈示と相互解消支援

特定のテーマを予め設定しないで、今年の例会を続けています。当初は「画像の編集」を集中的に勉強しましたが、ウイルスの被害情報がながれだした5月以降は、ウイルス対策を含め情報交換を主体にして、会員よりの相互Q&Aレッスンを行っています。

その延長として、「ネットミーティング」を例会日及び2週間後に行っています。例会日での情報と質疑への理解向上が目的です。

使用するアプリケーションは、今回「YAHOOメッセンジャー」に変更しました。接続するまで独特の用語と、操作に戸惑いましたが、慣れれば快適です。会員外でも参加できます。興味のある方は、同好会メンバーにおたずねください。

【写真】9月例会 撮影者と右端に一名 計2名除く出席者



ダンススポーツ

8月も休まず頑張りました

5月にスタートして早や五ヶ月をすぎ、スタート時に入会された会員の皆さんは、すでにワルツのステップを完全にマスターされ、広い体育館で軽快にステップされています。
その後に入会された方も先輩たちに教えてもらって、3回5回の出席で基本ステップをマスターされ、皆で賑やかに楽しく踊



つておられます。

今、男性2名と女性2名の経験者の方で、それぞれの初心者の方の指導を行っています。

皆さん、とても熱心で、空調の無い体育館の暑さの中で、8月はお休みにしましょうかと提案しましたが、「折角習い覚えたのに忘れてしまうので、是非続けてやって欲しい」の要望が多く、暑い中、ハンカチや手拭を首に巻きながら、汗を拭き拭き頑張っていました。

9月から、ジルバも始めました。計画通りに12月のパーティーまでに、あとルンバとブルースの基本ステップを練習します。

(江頭 記)

囲碁・将棋

時には世間ばなしも
対局は語らいの場？

例年になく暑かった夏も終わり、めっきり涼ぎ易くなって参りましたが、皆さんには有意義な毎日をお過ごしのことと存じます。さて今回は9月度 定例活動日の活動状況を紹介致します。

今回の参加者は河上國男さん、山本善久さん、徳永文昭さん、坂田広海さん、松岡良明さん、加えて世話人の山口。

先ずは将棋対決、山本善久さんと徳永さん、何時もの仲良しクラブのお二人ですが、将棋については徳永さんの方が少し上手かな。



いつも途中までは両者五角で真剣そのものなのですが、終ってみると大抵徳永さんの方がニタニタ。やっぱり最後の詰めの違いなのでしょう。

さて囲碁のほうは、河上さんと

世話人の山口。この勝負も勝ったり負けたり。

別格の江川さんと杉山さんが欠席された日は、あまり力の差の無いもの同士が、時には世間話をしたり、ゴルフの話に花が咲いたり！楽しい語らいの場でもあります。

毎週第一月曜日10時半から社友会室でやっています。気が向いたら覗いてください大歓迎です。

(山口 記)

グランドゴルフ

室内用用具取り揃え

いよいよ秋晴れの絶好のシーズンを迎えますが、グランドゴルフ同好会では、極暑のグランドでのプレーが熱中症の危険にさらされることと、冬季積雪や霜による活動の制約を避けるため、この7月に室内用の用具を揃えました。

シャープスポーツセンターの協力も得て、今年の猛暑は屋内でプレーしました。蒸し暑さからは逃げられないにしても、カンカン照りの太陽は避けてきました。

室内用ボールには特殊な突起があつて、全く平坦なフロアでも予想外の転びをするのと思ひ切つて振れない(距離が短い)ためプレーヤーは、いらいらがつつりスコアーも屋外よりは悪くなるようです。

9月になって第三工場グラウンドに戻つて2週間はよかつた



のですが、このところ先週と本日(24日)が雨で活動出来ていません。

来週からやつと秋晴れが期待できそうなので楽しみに待っている状況です。グランドコンデイションが悪くなければ金曜日10時から、楽しんでおりますから時間がおありの方は覗いて見てください。

(河上 記)



お知らせ

広島支部のインターネット対策について

進めておりました、広島支部の「インターネット環境」が9月末で、ようやく整いました。来年度予定する関連の事業について、これから準備を始めます。それらの概要をお伝えし、皆様のご支援とご協力をお願いする次第です。

通信機能の拡張と有効活用について

別掲のメールアドレスでの、会員諸兄への連絡や会員の方々からのご連絡に使用できます。また、現行「緊急連絡網」への対応も視野に入れ、運用の抜本的改善を図ります。予定では、12月定期発送便で運用の骨子をお伝えし、皆さんのご意見を伺うアンケート調査を行います。

委員会(仮称)の設置について

来年度公開を目論んでいます広島支部「ホームページ」の立ち上げと、都度の更新を定期的に推進するため、広報委員会(仮称)を設置します。パソコンの知識・経験を問わず、ご意見やご提案を直接提示いただく機会として、定期的な会合に参加をお願いするものです。近く、広報担当幹事より依頼をお願いする予定

です。

なお、当広報委員会(仮称)は、支部会報「ひびき」についても、さらなる充実を目指し、紙面の活性化についてのご意見を伺います。

ホームページ構築の基本構想

広島支部の「活動の広報」と位置づけします。会報「ひびき」は発行頻度から、速報性は期待できません。理想は、毎日更新ですが、せめて週1回は何らかの新規情報が掲載される運用が望まれます。それだけに、情報の収集とそのアップロードの機敏性が前提になり、新たな「広報担当」の役割が発生します。例えば、11月から発足する「写そう会」を含め、支部同好会は合計九同好会になり毎週何れかの同好会が例会を開いていることから、お伝えすべき話題が存在します。前記「広報委員会(仮称)」の機能確保が欠かせませんが、体制の構築と維持が必要条件になります。こうした条件を踏まえ、ページの構成と内容の展開を図ります。

社友会広島支部のメールアドレス
shayukai-hro@coral.plala.or.jp

秋季親睦旅行ガイドンス

シャープ亀山工場を見学し、伊勢神宮参拝 と 老舗旅館 戸田屋 に泊まる

11月9日(火)

シャープ亀山工場

世界最新鋭・大型液晶テレビ一貫生産工場。



案内者同行参拝



外宮参拝



案内者同行参拝

戸田屋



五つの貸切野天風呂あり。
創業170年の老舗。どの
部屋からも鳥羽湾が望める
かも？夕食懇親会は伊勢湾
の新鮮な「海の幸料理」

ご参考

<http://www.todaya.co.jp>

11月10日(水)

内宮参拝

信楽焼窯元見学&お買物

昼食メニュー

- 9日 うどんすき膳(上野)
- 10日 関宿ミニせいろ(関)



信楽焼は生活雑貨がメイン
たぬきの焼物、大徳利・大
福帳・菅笠で「赤」「黒」
一万匹が出迎え。

役員会だより

今回より新企画として「役員会だより」を掲載することに致しました。

ここでは役員会の活動状況、皆様へのお知らせやお願い事項等、必要に応じ記載してまいります。今後共に社友会広島支部発展のために、ご支援ご協力をお願いします。

1) 弔事発生時の連絡体制改訂

社友会広島支部発足以来しばらくは弔事発生に対する連絡体制はありませんでした。

このため現在行っている役員が手分けして全会員へ1人ずつ連絡する体制を構築しました。

その後、支部会員の増加が著しく、現行方式での継続は難しい状況になってきています。

この状況を緩和し、折角構築した体制を存続するため、新しい連絡体制に移行することとしました。

主旨ご理解の上、絶大なるご協力をお願いします。

<概要>

1. メール環境(パソコン、携帯)お持ちの方にはメールにて連絡する。

メール環境お持ちの方で社友会に未登録の方は、役員までご連絡願います。

また、現在メール環境をお持ちでない方はこの機会にメール環境の構築をお願いします。

2. メール環境をお持ちでない方には社友会名簿に登録されている電話番号に連絡する。

地区別に5名単位で直列のグループを作り、役員は一番目の会員へ連絡し、一番目の会員は二番目の会員へと順次連絡する方式を採用します。

なお、携帯電話やPHSへの連絡は不可とします。

(発信者の料金負担大のため)

また、FAX連絡も不可とします。(お持ちでない会員も居られるため)

別途案内書を送付し、アンケート調査しますので、主旨ご理解の上ご協力をお願いします。

注1)アドレスの公開(社友会名簿に記載)を希望されない方は、申し出て頂ければ対応します。

またメールはBCC発信しますので、他の人にアドレスが知られることはありません。

注2)社友会広島支部のEメール環境は本年10月に構築の予定です。

2) 平成17年度日直当番受諾調査の実施

平成17年度(対象期間：H17年5月～H18年4月)の調査を後日実施します。

過去、返事が戴けず電話やメールで督促したケースもあります。調査表受領後速やかに回答ハガキを返送願

います。

<今回の調査(実施)対象者>

1. 東広島市在住の会員
2. 年齢70才未満の会員

上記1.2.の条件で下記該当の方

- A. H16年度の調査で日直実施不可とされた会員
- B. H16年度の調査以降に入会の新入会員

現在、日直の実施頻度は約4ヶ月に1回ですので、万障お繰り合わせの上参加をお願いします。

また、日直実施時には、訪れる会員との交流の場としても活用いただけます。

注1)H16年1月19日付け「第2回 日直当番受諾の調査」に記述の如く、H16年度に受諾された方はH17年度も引き続き同一条件にて実施頂けるものとし、調査対象より外します。

既に日直を実施されている方、並びに、これから実施受諾される方も、実施可能な「曜日」や「期間」の変更または「全く実施不可」等が発生した場合は直接または他の役員経由で代表幹事までご連絡願います。内容確認の上対処します。

注2)始めて日直をされる方には「日直実施要綱」をお渡しし、かつ、経験者とペアで日直を行う様に配慮しています。

注3)東広島市以外の居住者、また70才以上の会員でも、ご本人の希望により日直を実施して戴いている方も居られます。

3) 第3工場入場関連事項

社友会並びに紅葉会会員の第3工場への入場は従業員出入口を使用しています。

この出入口扉が7月1日より、セキュリティー保全のため施錠されました。

1. 食堂、売店、他所へ行かれる場合は保安にてカードを借り入場します。(出る時は扉左のボタンを押す)
2. 社友会宛の郵便物受取場所はラポール広島玄関に変更になったため、日直実施時の第3工場への立ち入りは不要になりました。(日直実施者へは書面を発行しています)

以上



広島支部役員会

役員会は毎月第3金曜日の午後、広島独自の「紅葉会」役員も参加して開かれます。

都度の審議・検討の事項のうち、会員の皆さんに直接関連する事項を、お知らせすることとし、今号より掲載することにしました。ご一読下さい。

写真は9月度役員会の様子です。

社友短信

□西海孝雄さん逝く。
平成14年9月入会。平成16年8月16日没、享年62才でした。
ご冥福を祈ります。

□台風もさることながら、この夏は雷害も酷かった。落雷によって、電話機が壊れる話は過去にずいぶん聞いたが近頃の主役は、パソコンのようだ。常時接続の環境やIP電話導入で、モデムが最も先端で電源も24時間投入されている。モデムをやられた！と噂が飛び交い、中にはパソコン本体もダメージを受けた、というのも混じった。役員の中でも半数は被害を受けたに違いない。

□労働組合に「OB会」なる組織がある。労組の退任役員と現役役員とで構成されている親睦会のようなものだ。ハイキングは例月行われ、夫妻での参加を是としている。会員の一人がこの夏亡くなった。残された「妻」に行事参加の道を閉ざすべきでない、今年の総会は

「妻」を対象にした「準会員」制度を作った。社友会広島支部には松岡良明さん・中野英勝さん・山本孝喜さん・車角裕規さんの退職会員がいる。



□山口春香さん。広島支部トップクラスの多趣味の人。その山口さん、何を思ったか過日行われた広島カントリークラブ八本松コースでの、日本女子オープンに参加。とは言っても、ボランティアでのコース整理係。初日には17番ホールで、「お静かに」のプレートを上げたり下げたり。昼食の時間もなく10時間立ったまま。お疲れ様でした。残念ながら、ご褒美が何であったか聞きもらした。

新会員紹介

平成16年7月1日～9月末入会分

よしむら ひとし
吉村 均 さん No.3041
(部 品) 光メディア生産推進部

みなもと ゆきお
南本 幸夫 さん No.3042
(パーソナル通信) 生産技術部

つじ しげき
辻 重樹 さん No.3053
(AVシステム) A1235PT

まつだ まさひろ
松田 正博 さん No.3054
(シャープドキュメント) 中国支店

おくむら まさお
奥村 正男 さん No.3090
(電 化) 生産企画部

9月末現在 支部会員数
176名



編集後記

◇加齢のせいでしょうか、今年の夏は殊のほか暑く感じました。それにしても、台風の多かったこと、近来にない当たり年ともいえ、これも地球温暖化の影響なのかしら。

◇何かも知っているととは思っていませんが、世の中には知らないことが無限に存在するようです。機会ある度に、その一つ一つを知ることが、生きている証なのでしょう。昨日、「モンゴル国立民族音楽団」なる演奏会を聞き改めて実感しました。がんばらなくっちゃ。

◇今号から、新企画で役員会での審議検討した経過や、決定し会員諸兄にご連絡する事項の詳細を掲載することにしました。ご連絡する書面のスペースの制約で省略された事項や、検討段階で否とした事項の見解なども含めたいと思います。

◇11月に新たな同好会がスタートします。デジカメも対象に「写真」の「写そう会」です。世の中では、フィルム「あり」と「なし」は、二極化方向にあるようですが、「ありなし」同居は面白くなりそうです。

◇私事ながら、会報「ひびき」の担当を始めて5年目になっています。今号を含め3回ほど発行したら、卒業しようと考えています。

(裕)